

新潟の水辺シンポジウム 2019

誰もがいつでも、舟遊びを楽しめる水辺に！

かつては潟に、誰もどこからでも自由に入ることができ、舟で遊べ、移動し、収穫できていた。子供たちは遊びの中で水辺の魅力と怖さを知り、舟の漕ぎ方をいつの間にか覚え、大人になる頃は、遊びに収穫に舟をマイカー並みに操ることができていた。今では、潟に入る場所は限られ、誰もがイベントでしか舟遊びができない。だから「かつてに潟に入ってもいいんですか？」と聞く。

誰もが舟を操り、湖上を楽しめる新潟市民であってほしい。そのためにはみんなで舟や舟小屋・栈橋を共有し、互いに使える基盤シェアプラットフォームの仕組みがあつたらいい。そのベース基地と仕組みを皆で実現したい。シンポジウムでは、2020年に着手できる仕組みと行動方針を話し合います。

主催：NPO 法人新潟水辺の会 & がつてんプロジェクトチーム



時期：2019年12月14日（土）午後2時～4時半

会場：駅まえオフィス貸会議室 中会議室

新潟市中央区東大通 1-1-1 第五マルカビル7階

（1階にドトール、そば店が入っているビルです）

参加費：300円（資料代として）

参加申込み：新潟水辺の会 ホームページより

<https://niigata-mizubenokai.org/2019mizubesympo/>

申込み締切り：2019年12月11日（水）



裏面へ続く

●プログラム

■開会あいさつとプログラム案内 新潟水辺の会 梶 瑤子副代表 14:00

■川 TOPIC のお話 14:05

□最近の洪水と水害について：新潟水辺の会顧問 大熊 孝

■報告3題

□報告1：「鮭の川復活活動その後」 加藤 功副代表 14:25

□報告2：「つくり沿川まちづくりの会 2019」 山岸 俊男副代表

□報告3：「鳥屋野潟がってんプロジェクト 2019」 相楽 治代表

■休憩&映像 14:45

□鳥屋野潟湖上ワークショップなど（撮影王毅氏、編集加藤功氏）

■パネルトーク 15:00

「いつでも楽しめる舟遊びのプラットフォーム実現に向けて」

□パネリスト

渋谷 毅氏（新潟市立万代高校端艇部監督） 佐藤 正人氏（越後新川まちおこしの会会長）

中村 吉則氏（NPO 法人五泉トゲソの会理事長） 大野 彦栄氏（鳥屋野潟漁業協同組合理事）

松田 暢夫氏（山潟地区コミュニティ協議会） 肥田野 正明氏（まちごと美術館 CotoCoto 主宰）

土方 幹夫氏（NPO 法人新潟水辺の会顧問・車椅子カヌー普及会）

□進行：相楽 治（NPO 法人新潟水辺の会代表世話人）

- 舟遊びの現状と基本課題の問題提起
- 各団体、指導者の取組と自己紹介
- 舟の共同使用基盤 = プラットフォーム実現への意見、提案、課題
- 2020年の取り組みについて

■閉会挨拶と今後へ 新潟水辺の会 山岸 俊男副代表 16:25

◆交流望年会のご案内

シンポジウム終了後 17時から

会費：3,500円（シンポジウム案内ページより要事前申し込み。会費は当日徴収）

会場：つば八 新潟駅前店（新潟市中央区花園 1-2-2 ガレツ 3階）

申込み・キャンセルの締め切り：12月11日（水）まで

※締め切り以降のキャンセルや欠席については後日会費を請求します。